

# 「私のブログ体験記」

(株)教育基礎研究所社長 中川研作氏(49歳)

六月二日、通算四度目の「経営者会報ブログセミナー」が開催されました。メイン講演でご自身のブログ体験を披露してくださいましたのは教育基礎研究所社長の中川研作氏。先駆者ならではの話を誌上で再現しました。

- 創業 一九七六年
- 業種 教材企画・編集、印刷、発送代行業ほか
- 年商 三億円
- 従業員 一五名
- 本社 東京都品川区

「教育基礎研究所」といっても、何をしている会社か、ご想像が付きにくいと思います。当社は、私の父が三〇年ほど前に起こしました。父は長く学研(学習研究社)さんについて、四〇代で独立して、以後、教材の企画・編集とテストの採点、添削、電話相談などを手がけてまいりました。

を小回りをきかせてこなすようになりまして。サンリオさんの通信販売事業も手伝わせていただいたりしています。

## 初めてメールを送った相手が 大前研一氏!

ちょうど私が社長を継いだ一〇年ほど前、「少子化」が叫ばれるようになって、このままでは会社に将来はないと私は危機感を抱いていました。単純にお客さんが減るわけですから。そこで、少し手を広げて、印刷や発送代行など、細かい仕事

そういう会社の社長である私に、どのようにしてブログを始めて、どんないいことがあったかという話をさせていただくわけですが、その前に、きっかけを作ってくださいました、私にとって大切な二人の「師匠」のお話をさせていただきます。

まずお一人が大前研一さん。一〇年くらい前、たまたま大前

さんの講演を聴きに行きまして、会場を出るとき、「きょうの講演の感想を電子メールで送ってください」と書かれたチラシが配られていました。

当時はメールなんて一般的ではないですし、私もアドレスはもっていても使っていなかった。でも、そのチラシをいじって、「じゃあ、一丁出してみるか」という気になりました。

その日の夜遅くまでかかって感想文を書いてお送りしたんです。そうしたら、なんと翌朝四時、大前さんから返信が来ていて大変驚きました。というわけで、不遜にも、私が最初にメールをお送りしたお相手は大

前研一さんなんです(笑)。

それをきっかけに、大前さんが主宰する「向研会」という勉強会に入会させていただきました。これは経営者の方々が集まる会で、私が会員なのがおこがましいくらい、立派な会社の経営者が参加されています。

大前さんのおっしゃっていることって五年は早いんです。だから、常人には荒唐無稽に聞こえてしまう。実際、大前さんは早くから「インターネットの時代が来る」とおっしゃっていらした。大前さんが言うんだから、そうなるんだろうと思っただけでしたが、まさかここまで社会に欠かせないものになるとは思いませんでした。

大前さんに感化されてインターネットの世界に足を踏み入れたころ、もう一人の「師匠」に出会いました。先ほど素晴らしいお話をされた、久米繊維工業社長の久米信行さんです。同様に講演を聴きに行きまして、久米さんが、いまでいうメルマガを様々な方に送ってご縁を広げておられるという内容でした。講演が終わるとすぐに名刺交換

させていたでいて、以来、久米さんはほぼ毎日メルマガを送ってくださいました。お知り合いの講演なども、いつもメルマガで知らせてくださり、おかげで様々なジャンルの方々とのご縁が広がって、それ自体、私にとって大きな財産になりました。

## 社長には 社長のためのブログがいい

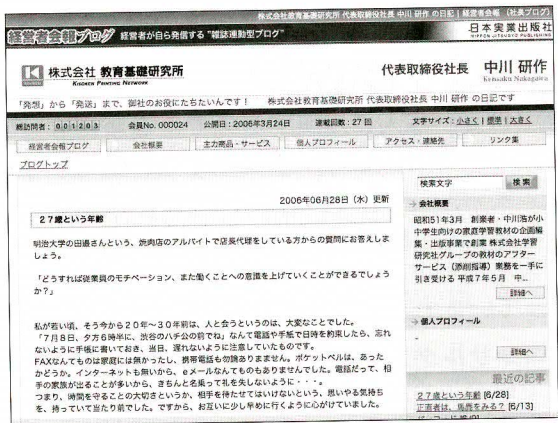
実は、こうして講演会に足を運ぶ機会が多かったことが、ブログを始めるきっかけになりました。普通、講演に行っても「いい話だったなあ」で終わってしまう。そうではなく、よいお話を聞いたとき、自分の中に定着させるため、ノートをまとめるような感覚で文章を書いてみようと思っていたんです。

最初は久米さんの真似をしてメルマガ形式で書いていたんですが、私程度の人間が、無理に送りつけるのは迷惑なのではないかと感じていました。ブログなら、先方から訪ねてきてくれますから、「これはいい」と思っ

楽天、ココログ、ogooと同時に書き始めて、ここは日々の日記、ここでは食べ物の話だけ、と書き分けていたんですが、まさに「二兎を追う者は」で、中途半端になってしまった(笑)。そうして行き着いたのが、この経営者会報ブログです。無料のブログサービスは、その会社のライバルのことを書いては駄目とか、自分の会社の宣伝をしては駄目とか、いろいろ制約があります。記事が削除されたという話も聞きます。

「ブログを始めたけれど続ける自信がない」という方へのアドバイスとして申し上げると、誰に読んで欲しいのか、その点を考えて書くとういと思います。私の場合、やはり社員、そしてお取引先の会社の方を念頭に置いて、日頃伝えたくてもなかなか伝えられないようなことを書くようにしています。実際、お取引先へお邪魔したとき、廊下ですれ違った人に「社長、ブログ読んでますよ」とって声を掛けられたりしますし、皆さん、題材にしようと目を通してくださいます。社員とも話題を共有できているように思います。

では一番読まれたくないのは誰かといいますが、私の場合、家族。皆さんもそうだと思いますが、会社の顔と家での顔は違うでしょう。だから、ちょっと照れくさい。あんまりみつともないことも書けないです。多少の脚色はするわけですが、先日、家内のことを書いたら本人に「この記事は何?」って怒られて……(笑)。



中川社長の経営者会報ブログ <http://kisoken.keikai.topblog.jp/>

それはともかく、私は作家ではありませんから、不特定多数の人に読んでいただく必要はないと思っています。もちろん、ブログがきっかけで取引が始まったり、社長同士のおつきあいが始まることもあるでしょう。この経営者会報ブログでは、いざ社長同士の交流の場も用意して下さるそうで、いまからわくわくしています。

ぜひ皆さんにもこの経営者会報ブログのお仲間になっていただいで、またお会いできますことを楽しみにしております。

(六月二日・談)

## 「私のブログ体験記」



中川研作社長